

寄贈品の紹介「携帯天幕」

歴史民俗資料室に、ご親族が戦争より持ち帰られたものとして、一枚の布製のシートをご寄贈いただきました。

ご親族は太平洋戦争時、シベリアに抑留され、その後帰国された時に持ち帰られたものと伺いましたが、詳しい用途などはわからないのとこのでした。

この布は一五〇センチ四方の大きさで、何枚かの布を縫い合わせたものです。

調べてみたところ、太平洋戦争時に陸軍で使用されていた「携帯天幕」と呼ばれる個人用のテントでした。

兵員が一人一枚ずつを持ち歩き、野外で宿営する時に使用しました。

この布は防水仕様になっており、複数をつなぎ合わせて雨や風雪を避けるためのテントを作ったり、くぼ地を利用して、天井部分だけを覆ったりするなど、様々な利用方法があったようです。

